

# がん化学療法一口メモ

## 抗がん剤と他の薬との関連

- ・現在服用している薬がある方
- ・新たに別の薬を使い始める方
- ・自宅にある市販薬を飲むことがある方

薬によっては抗がん剤の効果に影響を及ぼしたり、副作用が現れたりすることがあります。

左記項目に該当する場合は、治療前に必ず医師・薬剤師・看護師に伝えて下さい。

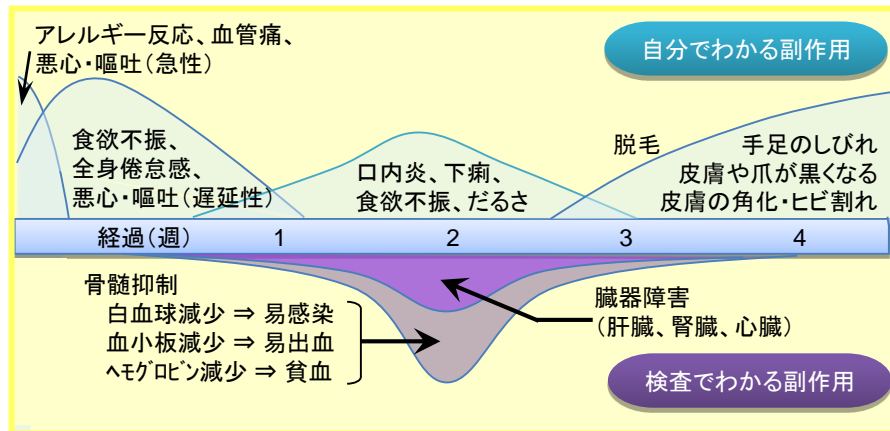
## なぜ、副作用は起こるのでしょうか？

抗がん剤は、がん細胞を攻撃します。しかし、正常な細胞の中でも特に、骨髄細胞（白血球、赤血球、血小板）、消化管（口、食道、胃、腸）の粘膜、毛根などは、抗がん剤の影響を受けてしまうため、副作用（感染症、貧血、出血、口内炎、吐き気、下痢、脱毛、皮膚炎、爪の変化など）が現れます。

## 副作用を知ることの大切さ

副作用は、全ての患者様に現れるのではなく、現れる種類や程度も異なり、個人差があります。副作用に対して、出来る限り苦痛が少なくなるように、治療や処置を行っていきますが、患者様自身も異常を早く発見し、症状の悪化を防ぐことが大切です。医療スタッフも最善のサポートをいたします。不明な点、疑問点などいつでも声をおかけください。

## 抗がん剤の副作用と副作用の現れやすい時期



## 抗がん剤点滴中の注意点

点滴の入っている部分に違和感があればすぐにお知らせください。

## ★ 主な副作用について ★

### アレルギー反応

次の症状が現れた場合は、すぐに医師や看護師にお知らせ下さい。

かゆみ、痛み、ほてり、頭痛、じんま疹、咳、くしゃみ、吐き気、呼吸困難、のどが締め付けられる感じ など

早めに医療者に相談しましょう

## 患者様にできる対策とケア

### 吐き気、嘔吐

- ・がん化学療法の日には食事を少なめにする
- ・体を締め付ける衣服は避ける
- ・食事はゆっくり時間をかけて、少しずつ、食べられる時に、食べられる物を食べる

### 白血球減少による感染

- 感染の早期発見と「手洗い」と「うがい」がポイント
- 感染症の疑いがある主な症状
  - ・38℃以上の発熱
  - ・腹痛、下痢
  - ・歯ぐきの痛み
  - ・排尿痛、頻尿、残尿感
  - ・陰部や肛門の痛み、かゆみ

### 口内炎

- ・口の中を清潔にする
- ・こまめにうがいをする
- ・歯ブラシは小さめで、毛がふつうの物を使う
- ・口の中を乾燥させない

### 下痢・便秘

- 下痢の時**
  - ・水分補給を心がける
  - ・スポーツドリンク、野菜スープなど電解質を補給する
  - ・消化の良い物をとる
  - ・トイレの後、肛門周囲を洗浄し清潔にする
- 便秘の時**
  - ・水分を十分にとる
  - ・排便を我慢しない
  - ・繊維の多い物をとる
  - ・便意がなくても毎日同じ時間にトイレに座ってみる

## ★ がん化学療法中の日常生活 ★

- ・十分な睡眠をとりましょう
- ・いろいろな人と話しましょう
- ・好きなことで楽しい時間をつくりましょう
- ・体調の良いときは、ときどき外出をしましょう

一人で悩まず、医師、看護師、薬剤師に相談して下さい

